

目次

1. 調査の概要 1

2. 調査結果の要約 2

岩手県立大学 令和元年度

卒業年次生アンケート

調査結果報告書（抜粋）

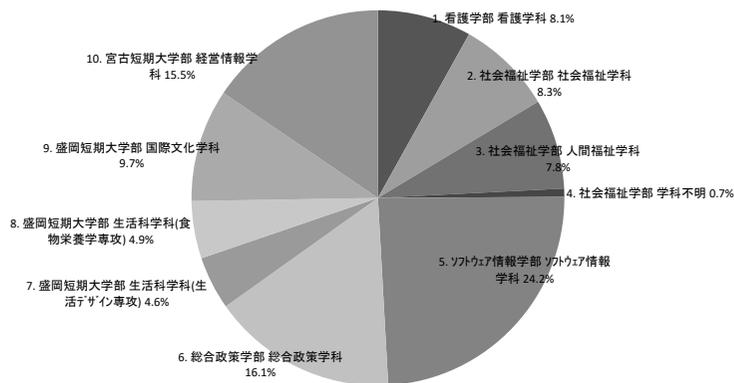
令和2（2020）年3月

1. 調査の概要

- ①実施時期： 令和元年2年2月～令和2年3月
 ②対象者： 岩手県立大学、盛岡短期大学部、宮古短期大学部
 令和元年度卒業年次生(684名)
 ③回答者： 566件(回収率:82.7%)
 ④集計対象回答者内訳：

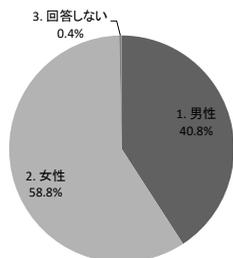
1. 学部・学科

| | | |
|----------------------------|-----|----------|
| 1. 看護学部 看護学科 | 46 | (8.1) |
| 2. 社会福祉学部 社会福祉学科 | 47 | (8.3) |
| 3. 社会福祉学部 人間福祉学科 | 44 | (7.8) |
| 4. 社会福祉学部 学科不明 | 4 | (0.7) |
| 5. ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科 | 137 | (24.2) |
| 6. 総合政策学部 総合政策学科 | 91 | (16.1) |
| 7. 盛岡短期大学部 生活科学科(生活デザイン専攻) | 26 | (4.6) |
| 8. 盛岡短期大学部 生活科学科(食物栄養学専攻) | 28 | (4.9) |
| 9. 盛岡短期大学部 国際文化学科 | 55 | (9.7) |
| 10. 宮古短期大学部 経営情報学科 | 88 | (15.5) |
| 合計 | 566 | (100.0) |



2. 性別

| | | |
|----------|-----|----------|
| 1. 男性 | 231 | (40.8) |
| 2. 女性 | 333 | (58.8) |
| 3. 回答しない | 2 | (0.4) |
| 4. 無回答 | 0 | (-) |
| 合計 | 566 | (100.0) |



2. 調査結果の要約

○学生生活について

- 4. 出身地は岩手県内が56.9%のほか、青森県、秋田県7.4%、宮城県4.1%と続き、東北6県の出身者が全体の79.5%を占めている。
- 3. 全体として住居の状況は自宅42.6%、アパート47.2%となっている。自宅の割合が相対的に高いのは盛岡短期大学部国際文化学科60.0%、総合政策学部59.3%である。
- 5. 全体として通学方法は自家用車27.2%、徒歩24.7%、バス17.0%の順となっている。
- 問15. 1ヶ月の平均収入額は全体として総額89,509円、自宅生は67,679円、自宅生以外は104,663円であった。
- 問11. 学内のサークル活動に参加していた割合は全体の67.7%であった。
- 問12. ボランティア活動に参加したことのある学生は全体の35.0%、学外のクラブ・サークル活動12.5%、地域創造プログラム6.5%、町内会などの活動5.1%、国際交流活動4.1%であった。
- 問13. 入学後の学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことのある学生の割合は全体の15.2%。被害・トラブルの内容として上位3項目は、「アルバイト先でのトラブル」4.9%、「交通事故」3.4%、「アカデミックハラスメント」2.7%となっている。
- 問16. 在学中の学生生活全般の充実度は全体の92.6%が肯定的回答(「とても充実していた」「やや充実していた」の合計)となっている。

○教育全般について

- 自ら設定した学習目標を「達成できた」「ほぼ達成できた」という肯定的回答は全体の81.6%であった。
- 問7. (1)、(2)キャリア形成に関わる正課の授業を履修した割合は、全体の53.7%。履修した学生のうち、「とても有意義であった」「有意義であった」と考える割合は全体の83.2%となっている。
- 問9. (1)、(2)インターンシップ(単位認定の有無は問わない。資格要件の実習は

除く。)を体験した学生の割合は全体の 51.8%。体験した学生のうち、「とても有意義であった」「有意義であった」と考える割合は全体の 88.7%であった。

- 問4. 外国語を習得するため、正課の授業以外で何らかの取り組みをした学生の割合は、全体の 26.1%。取り組みの内容としては、「検定試験(英検など)に挑戦した」15.2%、「通信教育や教材で自学した」8.0%等となっている。
- 問5. 在学中に海外渡航の経験を有する学生は全体の 22.8%、これまでの調査でも高くなっている。所属別では、盛岡短期大学部国際文化学科が 81.8%と突出して高い。

○図書館について

- 問17-(1). 図書館の利用頻度は割合の高い順に「月に 1~2 日」23.9%、「年に数回」19.4%、「ほとんど利用しない」17.1%、「週に 1~2 日」15.0%、「試験期間だけ利用」12.7%となっている。
- 問17-(2). 図書館の利用目的は「学習場所として(自学自習)」72.6%、「図書閲覧・貸出」62.2%、「図書・雑誌を利用した調べもの」32.2%の順に多くなっている。
- 問18. 図書館の利用満足度(利用したことがある者の肯定的意見:「満足」+「どちらかといえば満足」)は全体的に高く、今回調査では滝沢キャンパス、宮古キャンパスともにすべての項目において肯定的意見が 90%を超えている。

○健康サポートセンター、学生サポートサロン、学生相談室、保健室について

- 問19. 健康サポートセンター、学生サポートサロン、学生相談室(滝沢キャンパス)、保健室(宮古キャンパス)について利用したことがない学生も多いが、利用満足度(利用したことがある者の肯定的意見:「満足」+「どちらかといえば満足」)は非常に高く、すべての項目で 95%以上となっている。

○卒業後の進路、就職支援等について

- 問20. 全体の 51.9%が卒業後の居住予定地が岩手県となっている。所属別にみて卒業後の居住予定地が岩手県である割合が低いのは、ソフトウェア情報学部が 38.0%、看護学部 37.0%である。
- 問21. 卒業後の進路については、「就職(公務員以外)」が 66.4%、「就職(公務員)」が 10.6%、「[学部卒業生]大学院への進学(本学)」が 6.4%等となっている。

- 問22. 卒業後、進学をする予定の学生が進路先を選ぶ上で重視した項目は、「教育環境(施設含む)」54.7%、次いで「授業科目」52.6%、「地理的条件」29.5%、「授業料」28.4%となった。

- 問22-2. 進学または海外留学先についての満足度に関して、全体としては回答者 95 名のうち 64.2%(61 名)が「第一希望である」と回答、また、「第一希望に近い」を含めると 89.5%(85 人)となる。一方、「まだ進学先が決まっていない」学生も 3.3%(3 名)いる。

- 問24. 就職先を選択する場合に重視する項目は、全体としては「仕事内容(やりがい)」68.0%、「賃金・賞与」60.1%、「労働日数・時間」48.3%、「勤務地」40.3%の順であった

- 問25. 就職先について、「第1希望である」「第1希望に近い」と回答した割合は全体の 85.6%であり高い数値となっている。

- 問25-2. 本年度からの新規設問、就職先と合同企業等説明会との関連性については、就職先が「(合同企業等説明会で)話を聞いた企業等」とであると回答したのは、全体の 31.3%となっている。尚、ここで参加者のみを母数として、就職先が「(合同企業等説明会で)話を聞いた企業等」とであると回答したのは全体としては 45.9%にものぼる。

- 問26. 岩手県出身者で岩手県以外の都道府県に就職等を予定している者のうち、「何らかの時期で(岩手県内へ)U ターンを考えている」と回答した割合は 47.6%となっている。

- 問27. 大学の就職支援サービスを利用したことがある学生の満足度は、項目ごとに若干の差異があるが、2019 年度においては全ての項目について肯定的意見(「満足」+「どちらかといえば満足」)の割合は 91.7%~96.0%の範囲であり高い満足度と言えよう。

○大学への要望等

- 自由記述では教育内容や学生支援、施設・環境などに関する要望について 69 人(特になし等の記述は除く)からの具体的な記述があった。(別冊)